

事業報告

令和4年度 大分県公民館関係職員研修会

日時：令和4年5月25日（水）14：10～16：00

形式：視聴覚ホールでの集合研修またはオンラインによる研修(Zoom) 参加者：85名

<研修趣旨>

各市町村の公民館関係職員等が一堂に会し、公民館を取り巻く現状を把握するとともに、これから求められる公民館の役割と機能を理解し、公民館職員としての資質の向上及び相互の連携を図る。

<研修内容>

○講義：「人づくり・つながりづくり・地域づくりの拠点としての公民館
～公民館の多様な活動様式づくりを一緒に考えましょう～」

講師：大分大学大学院教育学研究科

教授 清國 祐二 氏

統計データに基づき、コロナ禍の社会活動への参加やコミュニケーションの状況について分析し、公民館の多様な活動様式を創るための方法について、多くの示唆をいただいた。さらに、地域とともにある学校づくりを進める学校とも連携・協働することで、人づくり・地域づくりの拠点としての公民館の活動の活性化への期待を述べられた。

○事業説明：「人権尊重のまちづくり ～登録型本人通知制度について～」

講師：大分県教育庁人権教育・部落差別解消推進課

主任社会教育主事 秋吉 邦治 氏

戸籍法の改正により、不正目的が拒否できる「戸籍の閲覧制限」が厳しくなったり、住民基本台帳法の改正による「住民票の公開」制限が行われているが、弁護士等の有資格者には法的業務を円滑に進めるための情報の取得できる特権が与えられている。登録型「本人通知制度」は市町村が住民票の写しや戸籍謄本等を代理人や第三者へ交付した場合に、希望する本人に交付したことを知らせる制度です。各人が登録することで「差別につながる不正をさせない」という意思表示にもなります。多くの方が登録することで「差別を許さないまちづくり」を進めていきましょう。



【研修1】講義

「人づくり・つながりづくり・地域づくりの拠点としての公民館 ～公民館の多様な活動様式づくりを一緒に考えましょう～」

講師：大分大学大学院 教育学研究科
教授 清國 祐二 氏



【研修2】事業説明

「人権尊重のまちづくり
～登録型本人通知制度について～」

講師：県教育庁人権教育・部落差別解消推進課
主任社会教育主事 秋吉 邦治 氏

<参加者感想>

- 清國先生の話聞いて、地域の将来を見据えた公民館活動、学校との協議のあり方等考えさせられました。
- 公民館の機能・可能性を学ぶことができた。主事として10年以上経過し、モチベーション向上に繋がった。
- 清國先生の講義で、日本の若者の様子が何え、「それはまさに地域の大人の姿である」ところがとても突き刺さりました。大人として、公民館にいるものとして取り組まなければならない課題です。
- オンライン研修で参加しやすかった。公民館や学校は、地域の重要なインフラであることを再確認しました。
- 社会教育や公民館活動で、地域課題の解決につながる部分は多いと改めて感じました。
- 登録型本人通知制度をたくさんの町民の方に知ってもらい、登録により差別の抑止になることを学んだ。
- 地域とともにある学校セミナーの具体的な事例についてもう少し詳しくお話をお聞きしたかった。
- 学校教育は「よりよい社会を創ることが目的」ということが明言されたことから現場にその旨を徹底してもらいたい。
- マスクを着用しているので、日頃より暑くて講演会は辛い時間でした。
- マスク着用により聞きづらいことがあり残念でした。マスクなしで話をされたらもっと聞き取りやすくなる。